

# 梅北だより

平成28年10月20日発行  
京都市立梅津北小学校  
校長 塩貝美鈴

## 平成28年度前期学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様にはお忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様からお寄せいただいたアンケートの数は314で、およそ84%にあたるものでした。皆様からのご意見、また児童へのアンケート結果、教職員の自校評価をふまえ、継続していくべきところ、改善していくべきところを明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

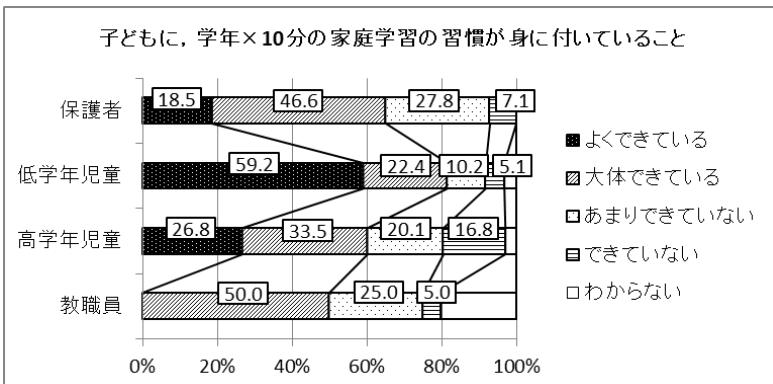
### アンケートの方法

アンケートの項目を、【◆確かな学力】 【◆豊かな心・健やかな体】 【◆学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目につき「重要度—実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度、実現度ともに高い項目は、比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より ～全項目は掲載できませんので、ご了承ください。～



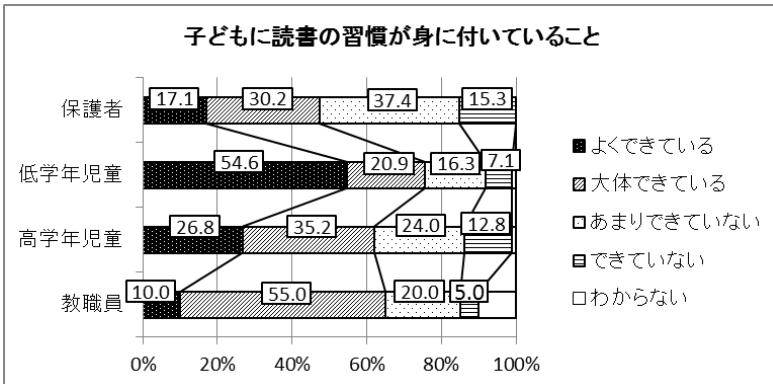
### 【◆確かな学力】



「学年×10分の家庭学習」について、保護者の約35%の方が、教職員の約30%が「あまりできていない・できていない」と感じています。高学年児童も同じような傾向が見られます。学校で学習したことを確実に習得していくためには、家庭学習がとても大切になります。学校では、毎日の宿題を丁寧に取り組むこと、高学年では中学校も意識して、

与えられた課題だけでなく自分で考えて自主学習に取り組むことを指導しています。ご家庭でも、集中して学習に取り組むことができるよう、サポートしていただけたらと思います。

読書習慣については、約53%の保護者の方が「あまり身に付いていない・身に付いていない」と感じています。学校では、自分の読みたい本を読書するだけでなく、国語の学習で関連する本を学習と並行して読書したり、社会や理科の学習で調べ学習する際に図書を活用したりして、図書館を活用した学習を進めています。ご家庭でも一緒に読書したり図書館に出かけたりして、本に親しむ機会をぜひ設けるようにしてほしいです。



習で関連する本を学習と並行して読書したり、社会や理科の学習で調べ学習する際に図書を活用したりして、図書館を活用した学習を進めています。ご家庭でも一緒に読書したり図書館に出かけたりして、本に親しむ機会をぜひ設けるようにしてほしいです。

### 【自由記述欄より】

○授業が進むのが早くて、ほとんどついていけない。十分に理解していないまま次へ進んでいる（特

に算数)。もう少しゆっくりやっていたいみたい。

○授業は答え合わせが多いように思うのですが、一人一人前の黒板へ行って書いたりすることなどが、もう少しあれば良いように思います。

⇒確かな学力を身に付けるためには、日々の授業での学習が大切になるのは当然です。各担任もしっかりと教材研究し、子どもたちの実態に応じた授業を進めていくよう今後も努力していきます。

○学校で授業以外に分からぬところ等を勉強する時間を作つてもらえると親としてはありがとうございます。

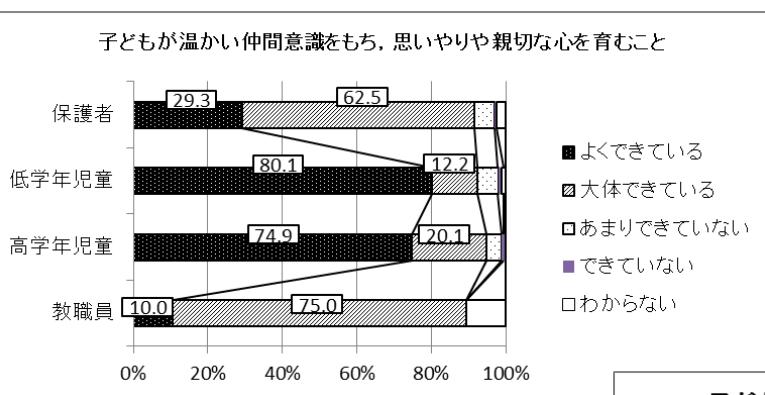
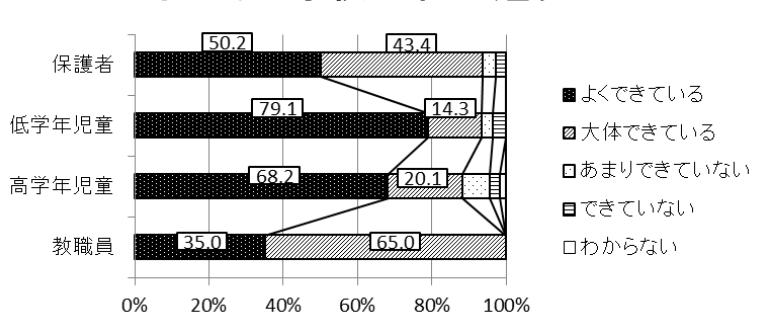
⇒各学級担任はもちろん、協力指導担当の教員も一緒に課外学習を進めていますが、今後も子どもたちの学力の定着を確実にしていくためにも、継続して取り組んでいきます。



### 【◆豊かな心・健やかな体】

『子どもが学校に楽しく通うこと』については、保護者、教職員の重要度が高い項目です。保護者・児童・

#### 子どもが学校に楽しく通うこと



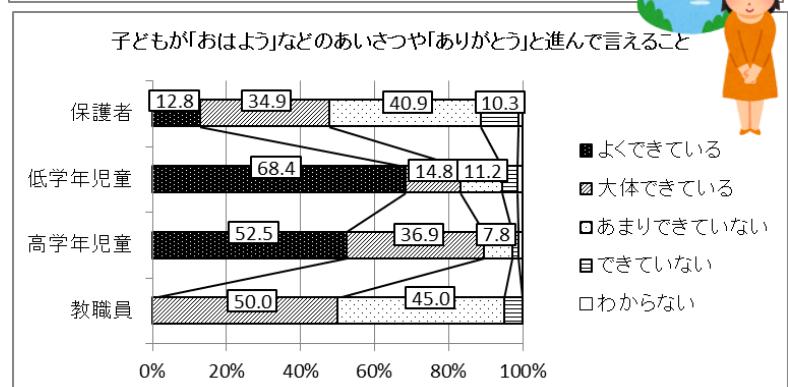
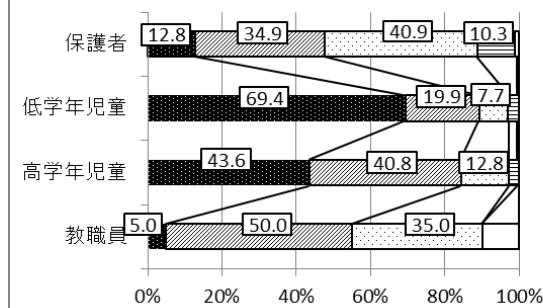
学校生活における規範意識を育てるために「あいさつ・そうじ・スリッパ・廊下は右側を歩く」は、ここ数年、本校で掲げている全校の目標です。多くの児童はいずれの項目についても「よくできている・大体できている」と答えています。一方、保護者の方々・教職員は「あまりできていない・できていない」と感じている割合の方が高く、児童と大人で違う結果となりました。

#### 【自由記述欄より】

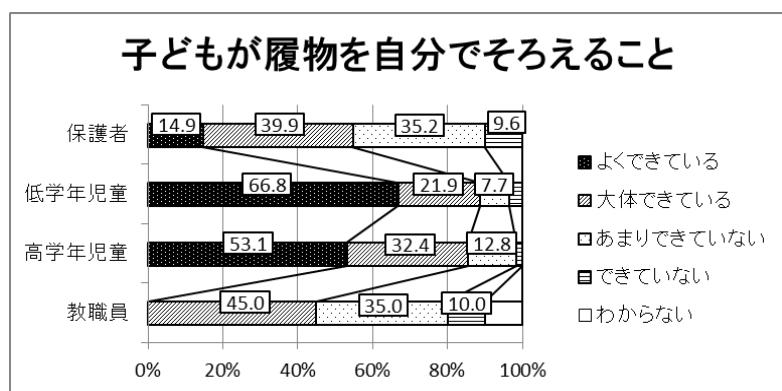
○集団登校で地域の見守りの方へのあいさつが全くできない。ずっと見てきていますが、全然変わりません。朝早くから見守りをしていただいている方にも大きな声であいさつをしてほしいです。

教職員三者ともに「よくできている・大体できている」が約88%を超える結果となりました。また、『子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや親切な心を育むこと』についても、85～95%の割合で「よくできている・大体できている」という結果になりました。学校という小さな社会の中で、お互いのことを思いやりながら仲良く楽しく学校生活を過ごすことができているというのは嬉しい限りです。ただ、低学年児童で約6%，高学年児童で約10%の児童が『学校や学級での生活が楽しいこと』について「あまりできていない・できていない」と答えています。その結果もしっかりと受け止めた上で、子どもたちがこれからも充実した学校生活が送ることができるよう指導を進めていきたいと考えています。

#### 子どもが身の回りの整理・整頓や掃除を進んできること



- 子どもたちが門に立って積極的にあいさつをしている姿はとてもかっこよく見えました。あいさつ運動はまた実施してほしいです。
- 子どもがみんなあいさつをし、笑顔で学校に行く姿を見ると安心します。あいさつ運動や靴をそろえるなどまず家庭からですので、その姿を見せていきたいです。



学校では、児童会によるあいさつ運動の取組を進めています。また、各学級でも履物をそろえることなどを、子どもたちが自発的に行えるように働きかけています。地域の見守りの方々も常日頃から子どもたちに声をかけて温かく見守っています。子どもたちを取り巻く大人が範を示していくことも大切です。今後もこれまで同様、継続した取組、働きかけをすすめていきたいです。

#### 【◆学校・家庭・地域の連携】

(保護者)	実現度				
	よく 出来ている	大体 出来ている	あまり 出来ていない	出来っていない	わからない
学校が、教育方針や教育活動の状況を分かりやすく伝えること	24.9%	64.1%	5.7%	2.1%	3.2%
学校が家庭・地域と連携し、「地域総ぐるみ」の教育を推進すること	18.2%	65.0%	6.8%	1.4%	8.6%
子どもが地域行事やPTA行事に参加すること	8.5%	58.4%	24.9%	5.7%	2.5%
保護者が学校行事（参観・懇談など）に参加すること	15.7%	70.5%	10.3%	2.4%	1.1%
PTA活動・地域活動が積極的に行われること	16.0%	61.2%	12.1%	2.1%	8.6%

#### [自由記述欄より]

- 学校からのお便りがきめ細やかで温かい内容でいつもうれしく拝見しています。
- ホームページがよく更新されていて学校の様子がわかりやすい。今後も継続されることを期待します。
- 周りの大人（保護者や先生）が一生懸命取り組んでいたら、子どもたちは肌で感じ安心して楽しく学校生活を送ることができると思っています。
- 「地域総ぐるみ」の教育のイメージがわきません。



登下校の見守り活動では、地域の方々、PTAの方々にお世話になっています。また、「有栖川での学習」（1・2年）、「芋ほり・焼き芋」（2年）、「昔のくらしの学習」（3年）の際には地域の方々にもお手伝いいただき、貴重な体験の場となっています。部活動でも地域の方に指導していただいている。土曜学習などの休日のイベントでは、PTAをはじめ地域の各種団体の方々に、子どもたちが楽しく過ごせる場を提供していただいている。本校の児童は、学校だけでなく、家庭・地域の中で育っています。これから多くの方々に見守られる中で、子どもたちは学んでいきます。

後期も学習発表会・持久走大会などの行事、参観・懇談会と学校に足を運んでいただく機会はたくさんあります。子どもたちの学校生活の様子を見ていただく良い機会です。お忙しい中だとは思いますが、都合を

つけてぜひ参加していただきたいです。また、学校ホームページやお便りなどで、子どもたちの学校での様子を今後も発信していきます。各ご家庭で、学校や地域でのことを話題にしていただくとともに、子どもたちの努力・頑張りを見つけて、しっかりと認めてあげていってほしいです。

### 【学校運営協議会理事の方々からのご意見】

- ・学年×10分の家庭学習や、子どもの読書習慣については、保護者・教職員のみなさんの評価が今一つなのは残念です。テレビやゲームに流されずに頑張る子どもへと、教職員・保護者のみなさんのご努力をお願いします。子どもの身の回りの整理・整頓も大事なことです。ご指導をよろしくお願ひします。
- ・アンケート結果の【確かな学力】を拝見し、高学年になるほど家庭学習の習慣が身に付いていないのは、改善していかなくてはならないですね。低学年の時から習慣づけして、持続できたら良いのですが。学校だけの取組には限界があるので、学校と家庭が一体となって協力し合うことが大切だと思います。
- ・全体として、教職員の努力が結果に表れているように思います。「学校」という言葉から、学力・成績が連想されますが、運動会などの様子を見ていて、「体力」の面ではどうかなど感じます。学ぶためには集中力が必要で、体力がないと集中力が弱くなり、「学び」に向かえないところもあるのではないかと感じています。

また、読書習慣が少し低いという結果については、近年、ゲームなどの少人数、または個人での室内（身体を使わない）遊びの影響が多いでしょう。そして、家庭での子育ての方針も大いに影響していると思います。子育ての責任者である親の成長が大切です。子どもに関わる時間を増やして子どもから学ぶという姿勢が求められています。親自身も、地域から離れる風潮を克服することが求められています。

- ・集団登校時の子どもたちのあいさつの様子は様々です。集団登校の集合場所でお互いに顔を合わせた時、まずは、あいさつを交わすことができたらと思います。高学年の児童が率先してあいさつの声を上げ、それに下級生や大人もしっかりと応えられたらいいなと感じています。



- ・毎年感じることですが、運動会の前後で子どもたちがとても成長しているように思います。あいさつや物事に取り組む姿勢など、特に6年生の意識が変わっていると感じます。普段の授業や学習だけでなく、運動会などの行事は子どもたちにとって学ぶことがたくさんあり、とても大切なことだと改めて思いました。

今回の学校評価とはあまり関係ないかもしれません、個人的に学校で子どもたちにもっと教えてほしいことは、「正しい準備運動（体育）」と「正しい発声方法（音楽）」です。

- ・一人一人の個性を生かしつつ、集団での行動では、「いじめが無く」他人を認め、いたわりのある子供たちに育ってほしいものです。梅津北の校区で培った知識と体力が、そのまま新しい息吹として根付いていく豊かな地域に。「この地域で育ってよかったです。」「住み続けたい。」と思いがわく、安心安全な地域づくりと共に取り組みたいと願っています。